

2018 年度 活動報告書

特定非営利活動法人 アジア女性自立プロジェクト

I 概観

2018年度の方針は、各事業の今後のあるべき活動の方向を探る1年としました。海外事業は、収益率を重視した製品開発と販売促進を目指しました。国内事業は、当事者のニーズにあった情報提供のあり方を工夫するとしました。

また運営面では、若手のボランティアやインターンを積極的に迎え、人材育成を意識しながら、多くの市民の方々の参加や理解を得て活動をしようと努めました。

社会の変化やニーズに応じつつ、AWEPのミッションにどのように近づけられたのか、以下の活動報告の詳細で成果と課題について明らかにしてみたいと思います。

II 活動の詳細

1 海外事業

(1) フェアトレード等を通じた女性の自立を促進する活動

①フェアトレード生産者のエンパワメント

各生産者からの製品仕入れ状況は下記の通りである。

Lampara house (フィリピン)	製品発注数：お薬手帳 24 点、ペンケース 23 点、トートバッグ 10 点、ギャザーバッグ 16 点、ポーチ 36 点、エコバッグ 14 点、コンビポーチ 10 点、ティナラックギャザーバッグ 30 点、ペンケース (イゴロット) 30 点 仕入額 (支払いベース)：133,618 円 * 布の仕入れで別に 24,751 円
APIKRI (インドネシア)	製品発注数：布ネックレス 150 点、木製ネックレス 50 点、木製ペンダント 50 点 仕入額：65,840 円
BTF (タイ)	製品発注：ブックカバー 40 点 (現地直接仕入れで、パスケース 5 点、カードケース 4 点、藍染布) 仕入額：18,349 円
Shakti Samuha (ネパール)	製品発注：さをりミニマフラー 50 点、フェルトショール 10 点 仕入額：46,500 円
MKS Handicraft (ネパール)	製品発注数：ニット製品 (帽子 50 点、手袋 30 点、スヌード 49 点、ブローチ 80 点) 仕入額：62,000 円
NJ craft	製品発注数：さをりミニトートバッグ 30 点

(ネパール)	仕入額：20,120円
--------	-------------

既存の製品、定番の製品で、不良品や注文と異なるものが納品されたケースが散見された。例えば、ランパラハウスのティナラックは、生成り色で注文したにもかかわらず、グレイで納品された。また、Lampara House の布ネックレスのテグスがすぐに切れてしまう問題が発生、楽器の不良品発生も少なくなかった。(不良品は返送修理した) BTF のブックカバーの縫製が丁寧でない、機能上の不備があり、再度作り直してもらった。Shakti Samuha では、ミニマフラーが販売できないほどの縫製状態で、やはりこちらも作り直してもらった。

このように、発注と異なる納品、不良品の発生、以前納品のものよりよくない状態の製品が本年度はしばしば見られた。それぞれに理由は説明されたが、現地でも AWEP 側でも対策を考える必要がある。返送の手間や経費、再納品による市場への提供遅れなど収益へのネガティブな要因になっている。

【シャクティサムハへの寄付金について】

2015年4月のネパール大地震の際、AWEPはネパールの女性支援の募金活動を行いました。募金期間終了後にも、引き続き多くの寄付をいただき、総額814,233円になりました。そこで、まとめてシャクティサムハでのさをり織り事業のために活用しようと、同団体の代表のバルクマリさんと合意しました。2017年12月に400,000円を、2019年3月までに残金414,233円をお届けし、縫製の技術向上と現地での店舗開設およびそのPRに活用されました。改めて、寄付者、支援者の方々に感謝申し上げます。



バルクマリさん

②国内販売活動によるフェアトレードの促進

【イベント販売】

本年度は次の通り11回出店した。

- 6/9,10 移住連全国ワークショップ（札幌市）
- 8/25,26 にわのあかり（神戸市）
- 10/14 日タイカルチャーフェア（京都市）
- 10/21 玉造教会国際協力の日（大阪市）
- 10/28 垂水教会バザー（神戸市）
- 11/10 ふれあいカフェ（芦屋市）

- 11/23 JICA 三田 (三田市)
- 11/25 長田ローカル&ワールドフェスティバル (神戸市)
- 12/1 シッピングブルイベント (神戸市)
- 1/17 ひょうごあんしんの日の集い (神戸市)
- 3/9 西宮国際交流デー (西宮市)



にわのあかり



長田ローカル&ワールドフェスティバル

秋にイベントが集中し、体制面で負担が大きくなった。出展料や体制の状況など、費用対効果を十分鑑みて今後も検討しなければならない。

【アジアの布と女性の手仕事展】

フィリピン、タイ、インドネシアなど各地を訪問して入手した珍しい織や染、刺繍の布を中心に展示（一部販売）し、市民の方にアジアの布に親しんでもらうとともに、そうした布を活用して制作された女性たちの手仕事製品を販売する目的で2016年度から実施している。本年度も各登録店舗の方に協力いただき、次の述べ9カ所で開催することができた。

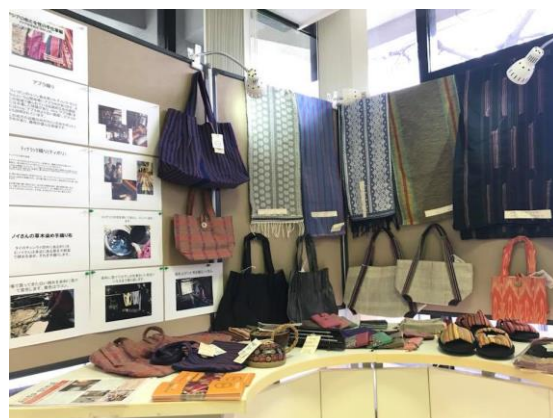
- 5/17-31 (公財) 神戸学生青年センター (神戸市灘区)
- 6/11-17 フェアトレード SHOP きらら (生駒市)、
- 6/12-26 ビーンズ・アクト (東京都練馬区)
- 6/23-24 「フェアトレードフェスタ 2018 in さっぽろ」展示
(札幌市「これからや」協力)

- 7/2-9 あしや市民活動センター（芦屋市）
- 7/20-7/30 NPO 法人 SEAN（高槻市）
- 7/23-8/6 あしや市民活動センター（芦屋市）
- 9/13-29 ビーンズ・アクト（東京都練馬区）、
- 10/4-10/17 るま・ばぐーす（東京都三鷹市）

6月から7月にかけて開催期間が重なるところもあり、展示品の撤収、準備、発送に困難な点もあった。今後は重ならないように、余裕をもった日程設定が必要である。また、本展示会による売り上げは初年度より減少傾向になる。変化の工夫を検討したい。



神戸学生青年センター



あしや市民活動センター

【ふるさと納税返礼品】

神戸市の「ふるさと納税」（自治体への寄付）に対する返礼品として、AWEPは従来1種類の製品を提供してきたが、本年度から4種類に増えた。返礼品としての注文は5件だった。

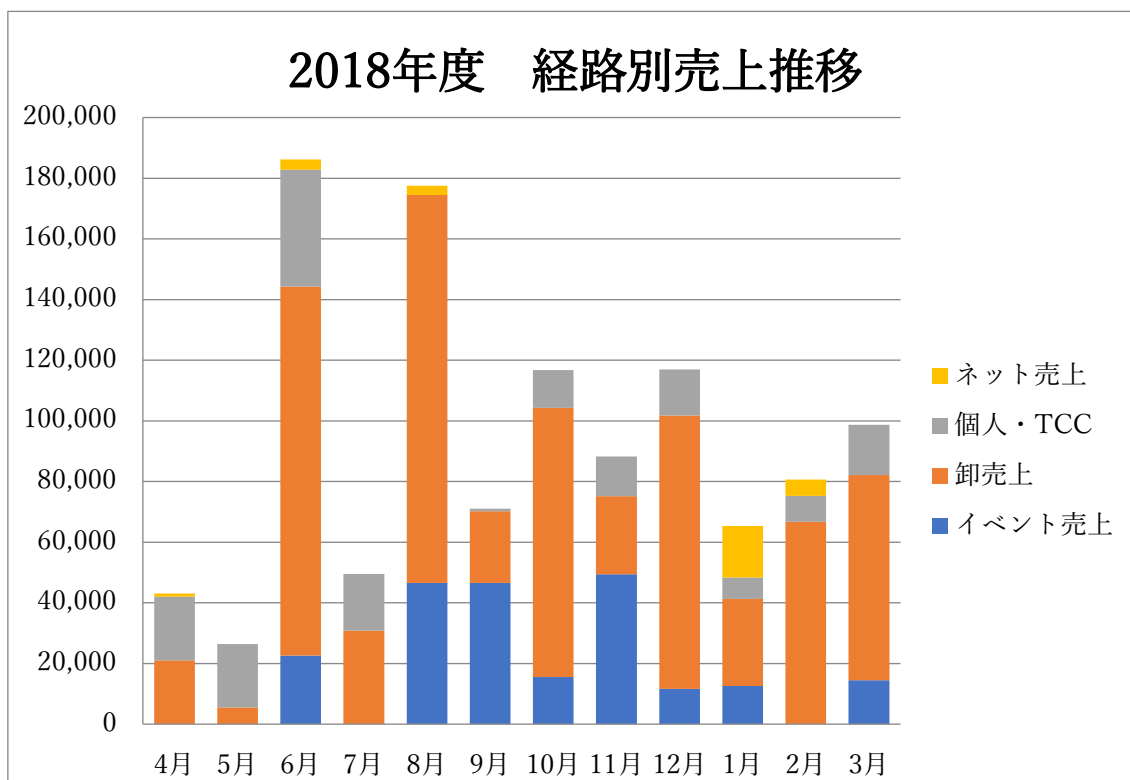
【クラウドファンディングのリターン品】

本年度は他団体のクラウドファンディングのリターンとして、AWEPの製品が次の2件で採用された。

- ・ウィメンズマーチ東京 2019 実行委員会
- ・神戸アジア食堂 SALA

【経路別の売り上げ（月ごと推移）】

割合は減少しているものの、まだ全売上の大半は卸売による。



【製品別売り上げ個数上位 20】 * 店舗卸販売分のみ (参考数値)

2018年度の製品別売り上げ個数をみると、上位20位の構成はネパール10点 タイ5点 インドネシア4点 フィリピン1点となっている。フィリピンの製品が比較的少ない。

順位	製品名 (国名)	販売個数
1	水牛の骨ストラップ (ネパール)	148
2	フェルトてんとう虫 (ネパール)	130
3	めがねケース (タイ)	38
4	カードホルダー (タイ)	28
5	バティックココナッツストラップ (インドネシア)	15
6	バティック布ネックレス (インドネシア)	15
7	バティック木製ペンダント (インドネシア)	15
8	手編み帽子 (ネパール)	15
9	さをりめがね置き (ネパール)	15
10	ペンケース (タイ)	15
11	お薬手帳入れ (フィリピン)	14

12	バティック木製ネックレス（インドネシア）	14
13	ポーチ S（タイ）	14
14	水牛の骨ボタン（3点セット）（ネパール）	12
15	フェルトてんとう虫（ネパール）	12
16	手編み指付きアームウォーマー（ネパール）	11
17	さをりミニマフラー（ネパール）	11
18	水牛の骨ボタン（5個セット）（ネパール）	10
19	手編みスヌード（ネパール）	10
20	パスケース（タイ）	10

（2）女性のエンパワメントに資する活動

【スタディツアーの実施】

2019年2月4日～8日 参加者は会員や支援者などを中心に10名が集まった。

タイのバントーフアン（BTF）を訪問、メンバー2名と交流し、ヤオ族の村2つを訪問し、刺繍をする女性から、村の女性たちの現状を聞き取った。刺繍の仕事の手間賃は出稼ぎよりも低いいため、若い人は従事していない現状がわかった。他方で、縫製の女性たちは少しでも続けていきたいとの思いも確認できた。また染色を手がけるノイさんの工房も訪問、天然素材による染色の難しさなどを聞いた。

社会経済状況がこの20年で変動していること、それによって現地のニーズも変化してきていることがうかがえた。製品を通じて、作り手の女性たちの思いや、暮らしの状況を伝え、女性たちの社会環境を変えていくことはAWEPのミッションだが、常に彼女たちの声をきき、私たちの思いや考えとずれがないか考えることが大切だと改めて感じた。ツアーでは、動画や写真なども多数撮影した。啓発活動やイベントなどで積極的に活用していきたい。



ヤオ族の刺繍グループの女性たち



BTFの縫製の女性たち

2 国内事業

(1) 日本に住む外国人女性の生活相談や情報提供を通じた生活支援

①生活相談事業

原則毎週水曜日に電話、および来所による相談に 12 件対応した。複数の担当がインテークした場合も効果的に対応できるよう、相談シート等を通じて情報共有した。また、基本的には AWEP は他の専門組織への適切な橋渡しをしているが、場合によっては NGO 神戸外国人救援ネットなど関係団体との連携、同行などを丁寧に行っている。本年度は同行対応を 2 件行った。

②情報提供事業

【あんしん通信】

「あんしん通信」は原則月 2 回、やさしい日本語と英語で発信を継続している。本年度は、NO.264 から NO.283 まで計 28 回発信した。登録受信者は合計 59 名。

取り上げるテーマの選択、やさしい日本語への変換など、ボランティアのメンバーと協議しながら原稿を作成している。

本年度の工夫として、「あんしん通信」を文字情報としてだけでなく、その周辺情報を含めてネットラジオ (FM わいわいと協力) を通じて、当事者女性の声を交えて音声情報で伝えるなど伝える内容とともに、伝え方を工夫した。本年度、放送に登場した方々は、川口フォイさん、知念マリアンさん、片山エミさん、「WorkMate」のフィリピン出身の方々 (他匿名 1 名) である。

【外国人女性のための役立つインフォメーション】

本年度、中国語版を 150 部発行した。今、日本に居住する外国人で最も多いのは中国国籍の人である。ニーズのある人に届けられるようにしていきたい。



録音の様子

(2) 共生社会を創り出すための交流・啓発・アドボカシー活動

①他団体との関係強化

【NGO 神戸外国人救援ネット】

運営委員として鋤柄理事が毎月第2月曜日の運営会議に出席し、運営、事業に参画している。

【ひょうご DV 被害者支援連絡会 (HYVIS)】

HYVIS 代表に昨年度に引き続き鋤柄理事が就任し、兵庫県内の女性支援団体との定例会議出席 (5 回)、神戸市、兵庫県の DV 被害者支援担当者との懇談を行った。

【移住者と連帯する全国ネットワーク】

6/9,10 に札幌で開催されたワークショップに、もりき理事と奈良理事が出席した。「女性・貧困分科会」の企画進行、報告書作成の協力をした。報告書は、同団体の情報誌「Migrants Network 200 号」に掲載された。

【関西 NGO 協議会】

準会員である。本年度は具体的な参加はしていないが、本協議会がコーディネーションする龍谷大学の国際協力入門の講義に協力した。

②勉強会、セミナーの実施

【日傘づくりワークショップ】

アジアの布に親しみ、身近に楽しめるように、前年度から本ワークショップを開催している。5/26と6/2の2日間、村上理事の指導で実施した。3名が参加し、それぞれ完成させることができた。



参加者の方の作品

【アジアの布と女性の手仕事展お話し会】

6/12 フェアトレードショップきらら 参加：20名（もりき）

7/29 NPO 法人 SEAN 参加：7名（もりき）

③通訳・翻訳等依頼のコーディネート

TCC（たかとりコミュニティセンター）の連携団体「FM わいわい」の依頼で、震災関連のフォーラムを記録したテープ起こしを請け負った。

④講師派遣・視察訪問受け入れ

講師派遣 5件

10/17 龍谷大学：鋤柄、奈良

10/31 尼崎市消費センター：奈良

11/9 羽衣国際大学：奈良

11/29 長田商業高校：鋤柄、村上

12/6 長田商業高校：鋤柄

視察受け入れ 2件

10/13 JICA 人身取引対策に関する日・タイ合同WS研修受け入れ：
研修員12名、JICA関係者等4名（TCC：鋤柄、村上、奈良）

11/28 獨協大学経済学部高安ゼミエシカルチーム：5名

⑤連携事業

獨協大学高安ゼミエシカルチームの学生6名のチームによるネパール支援事業について、現地のシャクティ・サムハとのやりとりの協力や事業へのアドバイスをを行った。2019年度も引き続き協力の予定である。

3 広報活動など

【AWEP 説明会】

8回開催し、計20名の参加があった。うち、5名の方がボランティア登録された。開催日と参加人数は次の通りである。

4/21 (1名)、6/15 (獨協大学6名)、7/4 (1名)、8/3 (1名)、11/2 (1名)、1/7 (1名)、1/21(箕面市国際交流協会7名)、3/4 (横浜国立大学2名)

【ニュースレター】(デザイン・編集：井之上章子)

本年度はウェブサイトで掲載することもあり、経費節減のために印刷部数を減らした。6月にVol.48を500部、12月にVol.49を500部、発行し、支援者や関係機関に送付したり、講演会などで配布したりした。

【ネット広報】

ウェブサイトの更新(38回)の他、適宜Facebook、Twitter、Instagramで発信した。Facebookに比べほかの2つのSNSはあまり発信できなかった。ウェブサイトからSNSへ拡散し連動的に活用していきたい。

【ファンファンパーティ】

体制面で厳しく、実施しなかった。企画の在り方について再検討を進めたい。

4 助成金の実績

助成金名	事業名	助成額	内容
公益信託 神戸まちづくり 六甲アイランド 基金	在日外国人女性に向けた 情報発信・相談活動とそ の促進事業	450,000円	相談事業、あんしん通信 事業、『外国人女性のため の役だつインフォメー ション』中国語版作成

Ⅲ 活動の実施体制

I 意思決定と実務推進の主体

項目	内容
会議	① 通常総会 2018年5月19日 ② 理事会 2018年9月28日、2019年2月16日 ③ 事務局会議 原則毎月第1水曜日に開催 ④ 製品開発会議 原則毎月第1水曜日に開催
事務局の体制	<スタッフ> (敬称略) ① 全体統括・会員・広報関連：奈良雅美 代表理事 ② 事務局長 (総務・財務)：鋤柄利佳 理事 ② 海外事業国内部門担当：村上菜摘 理事 (12月まで) ③ 国内事業統括：鋤柄利佳 理事 ④ その他事業担当： 海外事業フィリピン担当：もりきかずみ 理事 海外事業タイ担当：村上菜摘 理事 <ボランティア> (五十音順、敬称略) (2019年3月時点) 井之上章子、いなだ多恵子、岡内克江、鹿嶋節子、香取千晴、高月渚、チェイス洋子、杜頡頰、樋口景、村上菜摘、もりきかずみ
会員	運営会員 23名 賛助会員 50名 *2019年3月末現在 (下記に一覧)
他団体との連携	<地域> 特活) たかとりコミュニティセンター (神戸市長田区)：同センター所属のメンバーとして連携し地域の活動に取り組んだ。 ・ 定例連絡会 (毎月第1、3土開催) ・ 理事会への理事派遣 (年4回開催) <女性支援・外国人支援> 1. 神戸外国人救援ネットの運営委員としての活動 (鋤柄)

	<p>・運営会議出席（毎月第2月曜日）。</p> <p>2. ひょうご DV 被害者支援連絡会（HYVIS）の構成団体としての活動（鋤柄）</p> <p>・兵庫県内の女性支援団体との定例会議出席（偶数月第4水曜日）。</p> <p>3. 「移住者と連帯する全国ネットワーク」の全国フォーラムに参加（もりき、奈良）</p> <p style="text-align: center;">（2018年9月9日、10日 於：札幌市）。</p> <p><国際協力></p> <p>特活）関西 NGO 協議会（大阪市）：準会員として参加</p>
--	---

II 運営に関わり・活動を支えるみなさん

運営会員 （23名）五十音順 敬称略	
青山由香 縣晶子 朝倉克己 いなだ多恵子 岡内克江 岡埜ゆかり 太田和宏 笠 久恵 鹿嶋節子 神田慧太 木村寿子 定藤繁樹 鋤柄利佳 高木健作 武田 丈 チェイス洋子 仲尾育哉 奈良雅美 藤川真澄 村上菜摘 もりきかずみ 吉田和代 吉野太郎	
賛助会員 （50名、内6名匿名）五十音順 敬称略	
阿部三恵子 石山智子 市川栄見子 井原由紀子 占部 太 王貴美子 大森恵実 岡崎洋子 木村恵子 木村淳子 坂本陽子 皐月太郎 佐渡いづみ 嶋内良則 清水晴美 白井廣美 杉戸ひろ子 鈴木迪子 高木澄子 太治和美 谷口幸子 特定非営利活動法人すまみらい 中川加代子 中嶋秀昭 中森俊久 南場美紀 西海ゆう子 西脇鈴代 長谷川美代子 服部尚美 ビーンズ・アクト 飛田雄一 日比野純一 平等文博 藤井智子 藤田ふみ子 松代東亜子 三好宣子 村田裕子 モニカ ヘレン マカラエグ カヒログ 山田 恵 山本裕子 尹英順 吉田昌子	
役員 五十音順 敬称略	
理事：青山由香 太田和宏 大岡栄美 定藤繁樹 鋤柄利佳 奈良雅美 村上菜摘 もりきかずみ 監事：いなだ多恵子 仲尾育哉	